

2010年10月20日

報道関係者各位

ショートショート フィルムフェスティバル

アジアナ国際短編映画祭 実行委員長 アン・ソング

× ショートショート フィルムフェスティバル 代表 別所哲也

**アジア最大級の2大国際短編映画祭がタッグを組み
日韓観光振興に“映像の力”で挑む！**

「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」(企画運営:株式会社パシフィックボイス 代表・別所哲也)は、2009年に観光庁(国土交通省)と共に「旅ショート！プロジェクト」を立ち上げ、「旅っていいな」「旅がしたくなった」、「日本に行きたくなるね」をキーワードに、「日本の旅」、「日本の魅力(全国各地対象)」を描写する作品を募集。2010年6月の開催には総数71本の作品が集まり、入選作9本を上映いたしました。同プロジェクトの中で、今年8回目を迎える韓国最大級の国際短編映画祭「アジアナ国際短編映画祭」(実行委員長:韓国を代表する国民的俳優、アン・ソング氏)と提携し、「旅ショート！プロジェクト」エントリー作品の相互上映など、映像を通じた日韓観光振興を目的とした取り組みを行ってまいります。

11月4日(木)～9日(火)の日程で開催となる「第8回アジアナ国際短編映画祭」(韓国・ソウル)では、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA) 2010」で上映された「旅ショート！プロジェクト」作品を上映、そして「映像を通じた日韓観光振興シンポジウム」を開催いたします。シンポジウムでは、観光と映画、映画から生まれた観光スポットの影響、映像による日韓観光振興の可能性などについて意見交換を行い、今後の日韓連携による両国の観光産業活性化についてのパネルディスカッションを行う予定です。

■10月19日(火)アジアナ国際短編映画祭の記者発表の様様(韓国・ソウル)



出席者:アン・ソング(実行委員長)/イ・ジュヨン(プログラマー)/ペ・チャンホ(審査委員長)/ハ・ジウオン(特別審査委員)/キム・テフン(特別審査委員)

<会見内容>

文化観光体育部と韓国観光公社の後援で新設された国内コンペ部門「Traveling Shorts in Korea」は“旅行”と“ショートフィルム”が融合した部門で、ショートフィルムを通じて、韓国の魅力に触れてもらうことを目的としています。同部門の上映作品は、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011」で紹介

される予定です。また「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」との交換プログラムである「旅ショート！プロジェクト」で入選した作品が「Traveling Shorts in Japan」で上映されます。

■ご参考: アシアナ国際短編映画祭とは (<http://www.aisff.org/2010/>)



11月上旬にソウルの中心部にあるシネキューブ光化門で行われる韓国最大級の国際短編映画祭(今年で8回目)。韓国最大級の短編映画祭とあって、映画界から著名な監督、スターが応援にかけつけます。実行委員長は、韓国を代表する国民的俳優、アン・ソング氏。今年の審査員はドラマ「ファン・ジニ」などに主演をし、日韓両国でも認知度の高い女優ハ・ジウォンが務めます。本映画祭では、8つのインターナショナル・コンペティション・プログラム(自国の韓国ショートも含む)のほか、特別プログラムとして行定勲監督の『女たちは2度遊ぶ』を組み込んだプログラム「Short Falls in Love」などが上映される。

■「第8回アジアナ国際短編映画祭」

日程:2010年11月4日(木)~9日(火)(6日間)

場所:CINECUBE クアンファムン(光化門)

主催:(社)アジアナ国際短編映画祭

後援:文化体育観光部 ソウル特別市 韓国観光公社 映画振興委員会 アシアナ航空(株)

▼「旅ショート！プロジェクト」作品上映

日程:2010年11月6日(土)

時間:16:00-17:40

会場:CINECUBE 1館

上映作品は、「旅ショート！プロジェクト」優秀賞(国土交通大臣賞)受賞作を含む7本を上映予定。

作品:

『井の中の蛙』落合賢監督 「旅ショート！プロジェクト」優秀賞(国土交通大臣賞)ノオーディエンスアワード

『ヤギの散歩』仲村颯悟監督 観光庁特別推薦作品

『ハーネス(クローバー通りをこえて)』岡田久幸 監督

『青春マンダラー!』田嶋直子監督 「旅ショート！プロジェクト」観光庁特別製作作品

『おらえさけ』永澤愛生監督

『瞬くほど曖昧な夕暮れに』近藤一彦監督 「旅ショート！プロジェクト」優秀賞(国土交通大臣賞)

『海に見える場所』小路紘史監督

※「旅ショート！プロジェクト」に関する詳細: <http://www.shortshorts.org/2010/ja/ts/index.html>

▼「日韓国際映像&観光シンポジウム」

日程:2010年11月6日(土)

時間:18:00-19:30

会場:クムホ・アジアナ1館3階 ムンホアートホール

パネリスト:

<日本>

- ・別所哲也(ショートショート フィルムフェスティバル & アジア代表)
- ・柏原 崇(俳優、岩井俊二作「Love Letter」出演)

<韓国>

- ・イ・チュニョン(映画会社シネ 2000 代表&アジアナ国際短編映画祭実行委員)
- ・キム・オクビン(女優、パク・チャヌク作「渇き」主演)

※パネリストは変更になる可能性も御座います。

▼SSFF & ASIA では、ショートフィルムと韓国の魅力を多くの方に知って頂くために「アジアナ国際短編映画祭観覧ツアー！」を企画いたしました。詳しくは下記の HP をご参照ください。

<http://www.shortshorts.org/japankorea/wp/?p=314>

■パネリストプロフィール



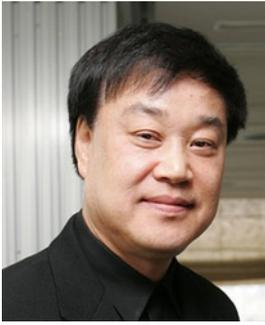
別所哲也 (俳優、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア代表)

慶應義塾大学法学部卒。90年、ハリウッド作品「クライシス2050」で映画デビュー。米国映画俳優組合(SAG)メンバーとなる。その後、数多くの映画・舞台・テレビで幅広く活躍。本年、「岩谷時子 奨励賞」を受賞。99年より、日本発の短篇映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル」を主宰。これまでの映画祭への取り組みから、観光庁「VISIT JAPAN 大使」に任命され、文化庁からは文化発信部門の長官表彰を受けた。第21・22・23回東京国際映画祭審査員・内閣官房知的財産戦略本部コンテンツ強化専門調査会委員。



柏原 崇 (俳優)

1977年3月16日、山梨県生まれ。93年第6回ジュノン・スーパーボーイ・コンテストでグランプリを受賞。翌年、ドラマ「青春の影」で俳優デビュー。95年『Love Letter』で映画デビューし、同年の日本アカデミー賞新人賞を受賞。96年『イタズラなKISS』主演など数多くのTVドラマや映画に出演。行定監督作では、『遠くの空に消えた』(07年)『女たちは二度遊ぶ〜どしゃぶりの女〜』(10年)に出演。



イ・チュニョン（映画会社シネ 2000 代表 & アジア国際短編映画祭実行委員）
 韓国の中央大学演劇映画科を卒業後、演劇に携わるが、1995 年に“シネ 2000”を設立。シム・ウナ主演の映画『美術館の横の動物園』（1998 年）などの話題作を製作する。また、1998 年に劇場公開されたホラー映画『女子高怪談』はシリーズ化され、韓国全国で 200 万人もの観客動員数を記録するなどの大ヒットを出す。この映画は、思春期の少女たちの抱える問題や教育問題をホラー映画のジャンルの中で取り上げ、社会的にも話題となった。



キム・オクビン(女優)

1986 年 12 月 19 日生まれ。2005 年、ホラー映画『女子高怪談4(邦題: ヴォイス)』でデビュー。2006 年、MBC ドラマ「オーバー・ザ・レインボー」で話題となる。2009 年に日本でも公開された映画『渇き』（監督: パク・チャヌク）は第 62 回カンヌ国際映画祭審査員賞を受賞。「渇き」では、実力派俳優であるソン・ガンホと共演し、彼に劣らぬ演技力を発揮し、着実に実力派女優としての道を歩んでいる。

■ご参考: 過去の実績



観光庁にて特別製作作品「青春マンダラー！」完成記者発表(2010 年 3 月)



アジア国際短編映画祭の実行委員長 アン・ソング氏(中央)も来日(2010 年 6 月)



「映像を通じた日韓観光振興」シンポジウム(2010 年 6 月)

■ご参考: ショートショート フィルムフェスティバル(www.shortshorts.org)



米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999 年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、有名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年 4000 本以上にも及ぶ作品が、世界 50 以上の国や地域からよせられ、のべ 14 万人を動員するイベントです。これまでに、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、などでも開催され、にはマレーシアでも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。また審査員には、大沢たかお、押井守、奥田瑛二、崔洋一、デーブ・スペクター、武田双雲、竹中直人、

土屋アンナ、寺島しのぶ、野口健、堀北真希、村上龍、桃井かおり、山田優など多彩な顔ぶれをお迎えし、様々な視点から審査をして頂いています。

PRESS RELEASE



2004 年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。本映画祭参加監督には、今や米国アカデミー賞受賞監督として名高いジェイソン・ライトマン監督や、「カンフーパンダ」など Pixar で活躍するマーク・オズボーン監督、シンガポールの新鋭、「881 歌え！パパイヤ」のロイス・トン・タン監督などがあり、今や第一線で活躍する監督も続々と輩出しています。

■ご参考:株式会社パシフィックボイス(<http://www.pacvoice.com/>)

代表者 : 代表取締役 別所哲也

所在地 : 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSUビル 4 階

設立 : 1994 年 8 月 11 日

資本金 : 1,000 万円

事業内容 : ・アーティストのマネージメント、プロダクション運営

- ・映画祭の企画・運営
- ・映像コンテンツの企画制作・販売
- ・映像および音響の記録媒体の製作・販売
- ・映像、映画上映の企画・運営
- ・教育育成事業の企画・運営 など

【報道関係者の方々からのお問い合わせ】

広報担当: 菊地・高橋

電話 (03)5474-8844/FAX (03)5474-8202/メール press@shortshorts.org